

科目ナンバー	HIS-2-007-sn		科目名	近代日本の成立		
教員名	西川 正也		開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	異なる文化、海外の人々との接触に際して日本人がどのように反応し、その結果、近代の日本がどのような形で成立するに至ったのかという問題について、歴史資料や文学作品などを通して考察を進める。					
到達目標	近代日本の形成の過程について、異文化との接触という、比較文化的な視点から捉えなおすことを目標とする。					
「共愛12の力」との対応						
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力		分析し、思考する力 ○
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力		実践的スキル
教授法及び課題のフィードバック方法	各回の授業の前半では、近代日本の形成に関して、江戸時代の後期から明治時代の中頃までを、時代を追ってたどっていく。 <<アクティブラーニング>>各回の授業の後半では参加学生から要望の多かったテーマを取り上げ、様々な資料、テキストや視聴覚教材などにあたりながら、参加者自身の意見をアンケートにまとめてもらう形で授業を進める。 また授業ではMOODLEを用いる予定である。					
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修		
受講条件 前提科目	受講希望者が多数の場合には抽選等による履修制限を行なう場合があるので、受講を希望する学生は必ず第一回目の授業(シラバス授業)に出席すること。シラバス授業を欠席した場合には、履修が認められないので注意すること。					
アセスメントポリシー及び評価方法	成績は、授業内容に関する知識習得度を学期末の試験(80%)で判断するほか、通常授業への参加度(20%)等を総合して評価する。					
教材	必要な資料は授業時に配布する。					
参考図書	芳賀徹『明治維新と日本人』講談社学術文庫 高村直助他『海外視点・日本の歴史』第12巻・第13巻、ぎょうせい 松本健一他『日本の近代』第1巻、第2巻、中央公論新社 ドナルド・キーン『日本文学の歴史』第10巻、中央公論新社 久米邦武編『米欧回覧実記』第1巻～第5巻、岩波文庫 福沢諭吉『学問のすすめ』岩波文庫 坪内逍遙『小説神髓』岩波文庫 二葉亭四迷『浮雲』岩波文庫					
内容・スケジュール						
1週目						
授業学修内容	シラバス授業(ガイダンス)					
授業外学修内容						時間数
2週目						
授業学修内容	概説					
授業外学修内容	授業内容の復習					時間数 0.5
3週目						
授業学修内容	江戸末期の世界と日本					
授業外学修内容	授業内容の復習					時間数 0.5
4週目						
授業学修内容	開国					
授業外学修内容	授業内容の復習					時間数 0.5
5週目						
授業学修内容	海外の視察					
授業外学修内容	授業内容の復習					時間数 0.5

6週目			
授業学修内容	江戸幕府の終わり		
授業外学修内容	授業内容の復習	時間数	0.5
7週目			
授業学修内容	「御一新」の政治		
授業外学修内容	授業内容の復習	時間数	0.5
8週目			
授業学修内容	文明開化		
授業外学修内容	授業内容の復習	時間数	0.5
9週目			
授業学修内容	外国人の見た日本(1)		
授業外学修内容	授業内容の復習	時間数	0.5
10週目			
授業学修内容	外国人の見た日本(2)		
授業外学修内容	授業内容の復習	時間数	0.5
11週目			
授業学修内容	岩倉使節団(1)		
授業外学修内容	授業内容の復習	時間数	0.5
12週目			
授業学修内容	岩倉使節団(2)		
授業外学修内容	授業内容の復習	時間数	0.5
13週目			
授業学修内容	新しい文学		
授業外学修内容	授業内容の復習	時間数	0.5
14週目			
授業学修内容	近代小説の誕生		
授業外学修内容	授業内容の復習	時間数	0.5
15週目			
授業学修内容	まとめ		
授業外学修内容	授業内容の復習	時間数	0.5
上記の授業外学修時間の合計		7	
その他に必要な自習時間		83	

Number	HIS-2-007-sn	Subject	Foundation of Modern Japan		
Name	西川 正也 (Nishikawa Masaya)	Year and semester	Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>When globalism became apparent in modern society, cross-cultural understanding is of course very important . In this course, from the viewpoint of comparative culture and literature, we will examine how 'Modern' Japan was founded under the influence of cultural contact between Japan and the Western countries.</p>				

